

やなせ魂

ともに進む

たくましく

あかるく

あたたかく



ホームページ

やなせ

<http://www.ueis.ed.jp/school/yanaze/>

宇都宮市立築瀬小学校

学校だより第7号

令和7年9月2日

発行責任者 宮澤文洋

1学期の後半がスタートしました

9月1日(月),子供たちの夏休みが終了し,1学期の後半がスタートしました。夏休みの成果物を持ち頑張って登校した児童,友達との再会を楽しみにしていた児童,笑顔と共に挨拶をしてくれる児童など,元気な声が響き,静まりかえていた校舎も校庭も,急に生き返って活気づいたように感じられます。子供たちは,夏休み中は楽しい経験を積むとともに,宿題も頑張っていたことと思います。この後,10月10日(金)まで1学期が続きますが,それぞれの学年は,まとめの時期に入っていきます。

さて,朝夕の時間帯には虫の声が多く聞こえるようになってきました。今月も,子供たちが生き生きと学び,たくましく成長していけるよう,保護者及び地域の皆様には,本校教育活動に対しまして,御理解と御協力を賜りますよう,よろしくお願いたします。



いじめゼロ強調月間 ～築瀬の輪 やさしい心 届けよう～

本校は,5月に引き続き,9月を「いじめゼロ強調月間」とし,重点的に取り組みます。

まず,学校ホームページで御案内のとおり,7月15日(火)に令和7年度の築瀬小学校いじめゼロスローガンが代表委員会より公表されました。今年度は全校投票を実施した結果,5年2組の作品「築瀬の輪 やさしい心 届けよう」に決定しました。投票までには,代表委員会が各クラスのスローガンから4作品に絞り,次に,その4作品について,全校生がWeb投票し(1年生は挙手による投票),決定となりました。本スローガンのもと,学校全体で,引き続きいじめゼロ,いじめのない環境づくりに取り組んでいきます。また,各クラスの作品は,教室の入り口扉にそれぞれ掲示されます。ところで,スローガンの「輪」は,「和」につながり,そして,やなせ魂「ともに進む」に通じるものが感じられます。

9月強調月間では,児童会代表委員会を中心に,主に3つの活動に取り組めます。「いじめゼロ根絶集会」の開催,いじめゼロポスターの作成・掲示,「いじめゼロリボン(イエローリボン)の着用」により,いじめゼロ意識の更なる高揚を図ります。また,今回も「やさしさ貯金箱」を実施していきます。いじめがゼロに向かうために大切なことは,「認める」ことがスタートだと考えます。自分と異なる人間がいてこそ,分野も広がり,視野も広がってそれぞれの力になっていくのだと思います。9月は,子供たちが「お互いに違うという事実を認め合う」ことも意識できるような1か月にしていきたいと思っています。

引き続き,「いじめは,いつでも,だれにでも起こりうる」との認識のもと,いじめのない環境づくり,風通しのよい学年・学級づくり,そして適切な対応に努めてまいります。学校ホームページのリンク集には,文部科学省監修の「ともだち・かかわりづくりプログラム」動画や,「いじめのない環境づくり」に関する情報を提供しています。是非,お子様とご覧になってみてください。



「いらすとや」より

PTA から暖簾が寄贈されました

夏休み期間中に、児童用トイレの扉を暖簾に変更しました。この暖簾はPTAからの寄贈です。暖簾設置までの経緯を御案内します。昨年度、トイレ扉のちょうつがい側に指を挟む事故が続きました。件数としては数件で、幸い打撲レベルで済んでいましたが、これは、たまたま打撲等で済んでいたのであって、大きく捉えるならば、1件発生すればすぐに対応が求められる案件です。以後、学年ごとに指導を強化した結果、現在まで発生していませんが、これも、たまたまゼロだったと考えるべきです。そんな状況の中、昨年度、亀田会長様と学校課題について話し合わせていただいた際、トイレ扉の指はさみの話題になり、「安全性の確保」「プライバシーの保護」「快適な空間」の観点で対応策を考えていたところ、暖簾が条件を満たすのではないかと、会長様から御意見をいただきました。また、子供たちのためにということでPTAによる寄贈という御提案もありました。さらに、本校学区には伝統工芸である「宮染め」の老舗工場があり、暖簾も製作しているとのこと。そこからは、市教育委員会との協議、予算承認から発注へと時間をかけて作業を進め、この夏の納品・設置となりました。色は男子と女子用の2色、模様はトイレに行くたびに目にすることを考え「やなせ魂」としました。サイズは、プライバシーの保護等も考え、トイレスペースに人がいるということが確認できる程度の長さとししました。8月9日の学校ホームページ「築瀬小 NEWS」で御案内のとおり、トイレ扉の取り外しと暖簾の設置は学校機動班の皆さんにお願いしました。そして、9月1日のリモート朝会では、子供たちに経緯を伝え、暖簾とともに温かなお心もいただいたことを心に留めて、PTAの皆さんに感謝し、大切に使用していこうと話しました。亀田会長様はじめ、会員の皆様、染め物工場の皆様に感謝いたします。

【番外編】私が小学生の頃、田川の大泉橋(たいせんばし)の近くで独特の香りとともに、長い布を洗っていた方たちがいらしたことを覚えています(隣の錦小学校出身です)。恥ずかしながら、それが宮染めだったことを今回初めて知りました。それと同時に、現在3軒となった工場のうちの 하나가本校学区にあることも知りました。勝手ながら、約50年越しの気付きに感動し、築瀬学区に深いご縁も感じているところです。今後、宮染めの藍色を「やなせブルー」として、築瀬小学校のイメージカラーにしていきたいと目論んでおります……。



暑さ指数による下校時の対応について

7月18日にさくら連絡網にてお知らせしたとおり、熱中症に関する市教育委員会からの通知を受け、児童引き渡しについて対応したところでしたが、8月に内容が改正され、再度の通知がありました。再通知への対応については、9月1日付でさくら連絡網を通じて御案内しています。さて、具体的な改正内容は、環境省が公表している暑さ指数をもとに判断をすることです(前回通知では、各学校の測定値で判断と捉えていました。)。公表数値は1時間ごとに更新され、例えば、14時の数値は14時30分前後にアップされるといった具合に、タイムラグが生じます。そこで、児童下校の際に大幅なタイムラグが生じている場合は、本校校庭でリアルタイムに測定し、下校、留め置き、留め置きからの引き渡し、について適切に判断していきたいと考えています。関係の皆様には、御理解の上、御協力をお願いします。